第15回夏休み自然観察記録コンクール

◇募集　7月16日～9月16日
◇応募　北海道内の小学校68校から
　　145点
◇入選　入賞9点、佳作20点、学校賞2校
◇審査委員
　伊達佐重（審査委員長、北海道自然保護協会常務理事）
　佐藤　謙（同協会会長）
　在田一則（同副会長）
　福地郁子（同常務理事）
　江部靖男（同常務理事）
　荻田雄輔（同常務理事）
　横山武彦（同理事）
　堀　繁久（北海道開拓記念館学芸員）
　坂本雅彦（北海道新聞野生生物基金事務局長）
◇主催　（社）北海道自然保護協会
　　北海道新聞社
　　（財）北海道新聞野生生物基金

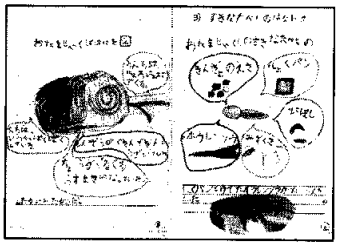
第15回夏休み自然観察記録コンクールの審査会が9月24日、北海道自然保護協会内で開かれ、入賞、佳作合わせて29点と学校賞2校が決まった。最高賞の金賞には札幌市立円山小1年の金澤寿靖君の「オタマジャクシのかんさつ」が選ばれた。

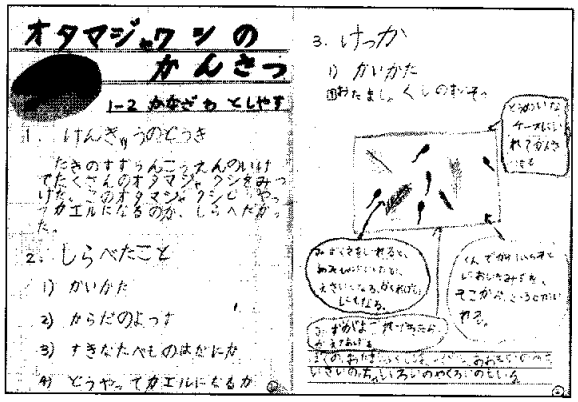
その他の入賞、佳作は以下の通り（敬称略）。

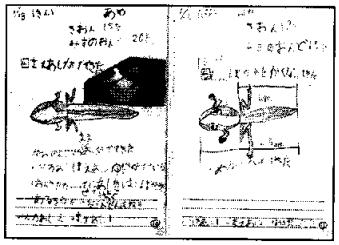
▽銀賞　鈴木静八（札幌市立大倉山小5年）「ニジュウヤホシテントウの食」、後藤竜之介（札幌市立西宮の沢小6年）「ルリボシをもとめて」

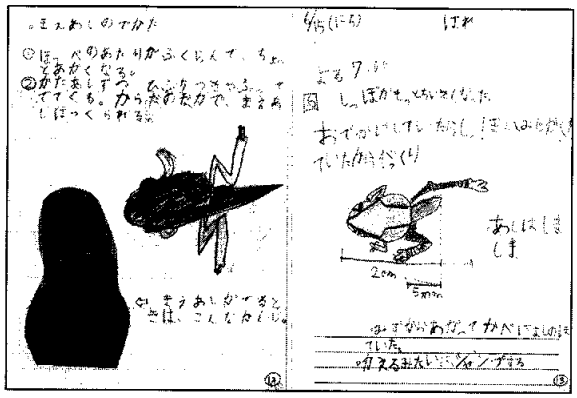
▽銅賞　須田宗仁（札幌市立大倉山小1年）「まるやまのけんきゅう」、岸本健（札幌市立真駒内緑小3年）「小さなかいぶつたち」、中崎千尋（札幌市立北都小3年）「庭にいる昆虫」、西村明莉（本別町立本別中央小3年）「お母さんが助けたオオミズアオ」、小出斎（江別市立野幌小5年）「ミクロの身近な昆虫図鑑」、佐藤宏賢（置戸町立置戸小6年）「だんごムシ」

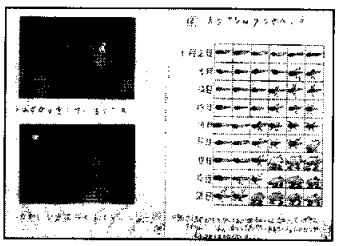
▽佳作　ながしまはやと（島牧村立島牧小1年）、阿部丈一郎（札幌市立大倉山小1年）、吉川貴一朗（同）、柴田礼王（同）、山口綾理（江別市立対雁小2年）、松本紗帆乃（道教育大付属旭川小2年）、加藤奈津子（札幌市立真駒内緑小3年）、藤波勇貴（恵庭市立恵み野小3年）、小森悠生（豊富町立兜沼小4年）、西村あまな（札幌市立東川下小4年）、渡辺里穂（登別市立富岸小4年）、川原田彗未（札幌市立真駒内緑小4年）、鈴木あかり（同）、斎藤輝（同）、小原大樹（鷹栖町立北野小5年）、石原知季（網走市立網走中央小5年）、西村虎大佑（本別町立本別中央小5年）、山本高太郎（札幌市立真駒内緑小6年）、松永渉（帯広市立帯広小6年）、中崎蒼太（札幌市立北都小6年）▽学校賞　札幌市立大倉山小、札幌市立真駒内緑小











金賞　金澤寿靖君（札幌市立円山小1年）「オタマジャクシのかんさつ」

来年の計画を

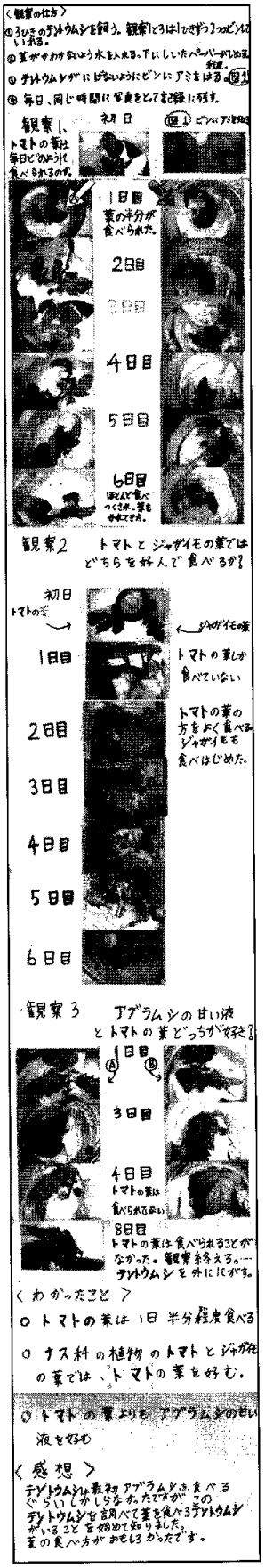
審査委員長 伊達佐重

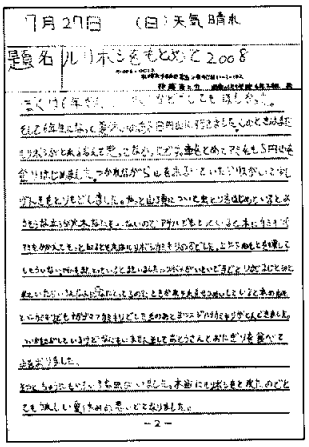
金賞の金澤寿靖君は、オタマジャクシがカエルになるまでを丹念に記録を取り続けました。体の変化を見やすい絵グラフにしたのが特に良かったです。

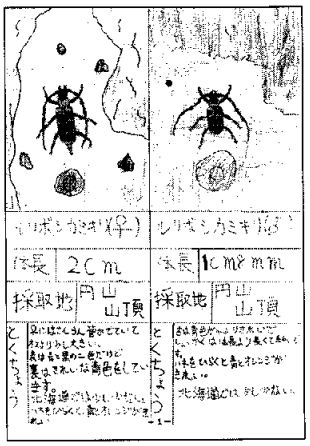
銀賞の後藤竜之介君は、色鉛筆によるカミキリムシの細密画が見事な出来栄えです。数年間探し続けていたルリボシカミキリを発見した時のうれしさが伝わってきました。鈴木静八君は、ニジュウヤホシテントウが何を好んで食べるのかを毎日同じ時間帯で調べました。写真と観察文で分かりやすいまとめ方です。

銅賞の須田宗仁君は、木の全体と葉の拡大と茂り方を、写真を有効に取り入れた見やすさで成功しました。佐藤宏賢君は、ダンゴムシを上下左右から精密な線画で表現した素晴らしい絵でした。西村明莉さんは、オオミズアオを正面と上下から特徴をつかんでしっかりと描きました。一匹の蛾でも題材になるという見本を示してくれました。小出斎君は、昆虫のスケッチが一段と上達しました。観察文も欲しいですね。岸本健君は、水中の微生物を顕微鏡とカメラを使い、写真に説明文を付けたまとめ方が上手でした。写真の力に頼りすぎたのが惜しまれます。中崎千尋さんは、庭の昆虫をじっくりと見つめ、自分の力で描いた事がじかに伝わってくる作品でした。

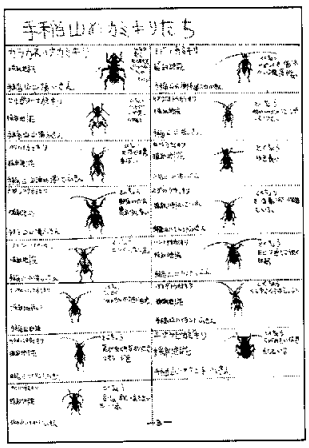
来年はどんな事に取り組むか、今から計画をめぐらせておくことも楽しいですね。



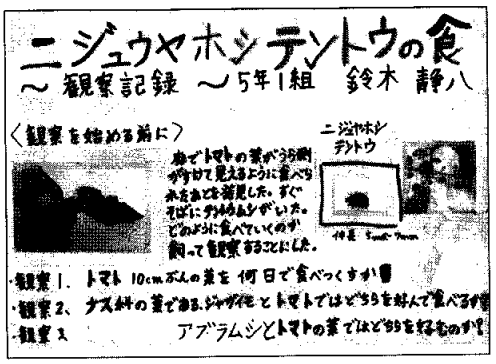




銀賞
後藤竜之介君(札幌市立西宮の沢小6年)
「ルリボシをもとめて」



銀賞
鈴木静八君(札幌市立大倉山小5年)
「ニジュウヤホシテントウの食」



「モーリー」No.19（財団法人北海道新聞野生生物基金）より転載